



利用者と子どもたちの喜ぶ姿をみると嬉しい

鈴木 建太郎さん 社会福祉職 障がい者自立センター
 道姓 汐里さん 社会福祉職 中央子ども家庭センター保護課
 諏訪田 祐希さん 社会福祉職 中央子ども家庭センター保護課

・鈴木さん

●今の仕事はどうですか？
 鈴木 障がい者自立センターのケースワーカー（CW）は、生活支援と相談業務の両方を行えることが魅力です。利用者の施設生活を支援する中で、信頼関係を作りながら、ニーズを把握していくことが出来ます。利用者が、担当CW以外にポロッと弱音を吐いたりすることもありますが、担当以外の利用者とのコミュニケーションも大切にしていきます。

●道姓 一時保護所に入所する子どもは、来て来てくるのではなく、何らかの不満や不安を抱えていると感じます。そんな子どもと関わる中で、「安心して過ごせるようになった」と話してくれたり、日常の声かけに対し「気にかけてくれた」と喜んでくれたりすると嬉しくなります。

●諏訪田 私、「話しやすい」と感じることが多いです。前職での電気に関する知識を活かして、より安全で安心なインフラ整備を進めたいです。そのためには、誰かが困ったときはみんなが協力して解決していけるような職場が必要です。今の職場はそんな感じの雰囲気なのでよかったです。自分も、周りに気を配れるように広い視野をもって仕事を進めたいと思います。

●府職労へひとこと
 取り組みなどで、普段の仕事ではあまり関わりのない方が会える機会があることがいいと思います。



採用2年目 村東 孝信さん
 電気職 東部流域下水道事務所

●今の仕事はどうですか？
 人さまざまな進め方の仕事の絶対量が多く、個々夫々していますが、時間が足りません。大きな規模の仕事を担当し、府民の生活を支える仕事をしています。やりがいを感じます。

●これからやりたい
 前職での電気に関する知識を活かして、より安全で安心なインフラ整備を進めたいです。そのためには、誰かが困ったときはみんなが協力して解決していけるような職場が必要です。今の職場はそんな感じの雰囲気なのでよかったです。自分も、周りに気を配れるように広い視野をもって仕事を進めたいと思います。

●府職労へひとこと
 取り組みなどで、普段の仕事ではあまり関わりのない方が会える機会があることがいいと思います。

電気知識を活かし安全・安心なインフラ整備をすすめたい

培った技術を研究に活かし安全に貢献

野村 千枝さん
 薬学研究職 大阪健康安全基盤研究所

●今の仕事や、これからやりたい仕事は？
 食品添加物・組み換え遺伝子・特定原材料（アレルギーマテリアル）が、表示通りかを検査しています。また、キノコの毒性について研究しており、食中毒等の対応時にキノコの毒を鑑定することで診断や治療に活かす内容です。検査で培った技術を研究に活かして府民の安全に貢献できることがやりがいです。個々に専門が分かれるので、よくつた動くことが、

一人ひとりが誇りとやりがいをもって働いている！ 「みんなが笑顔になるために」 今こそ府職労の出番です！



北村さん(左)・竹内さん(右)

●今の仕事はどうですか？
 竹内 制度や条例の改定や、予期しない問題が起こることによって、こんなにも業務の忙しさが変化するのは正直驚きました。今の職場では先輩方が気にかけてくださり、業務が多少忙しくても心の負担はほとんど感じないです。すごく恵まれていると思います。

●府職労へひとこと
 竹内 一人ひとりの声は小さいかもしれませんが、まとめて団体の意見として発信すること



採用5年目 橋田 直さん
 言語聴覚士 国際がんセンター

●今の仕事はどうですか？
 患者さんのケアをするのは当然ながら、国際学会で論文発表したり、大病院で働くからこそできることにチャレンジしたいと思っています。

●これからやりたい仕事は？
 チームプレーで仕事をすることで、労働環境を整えることが必要だと思います。忙しすぎるとチーム

●府職労へひとこと
 みんなが働き続けられる体制や労働条件を求められることが組合の良いところです。みんなの意見があつて支部で粘り強く要求をして、リハビリテーション科の人員が1.5倍に増員されみんな喜んでいきます。



採用4年目 下野 宮子さん
 非常勤看護師 国際がんセンター

●今の仕事はどうですか？
 大変な治療をされている患者さんが多いと思いい、自分も力をつけて頑張ろうと思いつつ、緊張感を感じました。

●府職労へひとこと
 組合に入り、自分の気持ち的に職員の一員として一歩前に進めたと意欲的になりました。

治療する患者さんに寄りそって頑張りたい

大病院で働くからこそチャレンジしていきたい